

宝塚市立病院改革プラン2017進捗状況

○令和3年度の点検・評価結果と令和4年度の数値目標

(1)医療機能等に係る数値目標

項目	R3		R4
	目標	実績	目標
救急車受入件数(件)	5,000	2,787	5,000
がん入院患者数(人)	2,700	2,387	2,700
手術室手術件数(件)	3,800	3,618	3,800
在宅復帰率(%)	97	97	97
紹介率(%)	71	59	71
逆紹介率(%)	112	88	112
平均在院日数(日)	10.3	10.7	10.3

(2)経営指標に係る目標

項目	R3		R4
	目標	実績	目標
経常収支比率(%)	100	103	100
医業収支比率(%)	95	89	95
1日当たり延入院患者数(人)	340	263	315
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	60,374	64,417	65,000

(1) 医療機能等に係る数値目標

医療機能等に係る数値目標は、在宅復帰率以外は目標を達成できませんでした。これは、新型コロナウイルス感染患者の専用病床を確保するため一部の病棟を閉鎖したり、病棟でのクラスター発生で、予定入院患者を制限したり、救急受入患者の受入れも制限したこと、病棟内で職員や患者さんから感染が発生したため、後方病院への転院がままならなかったことが、影響して目標を達成できませんでした。

また、前年度よりも多くの外来患者が、発熱外来や帰国者・接触者外来を受診しましたが、その多くは医療機関からの紹介ではなく、保健所や直接来院であったため、紹介、逆紹介率が下がる要因となりました。

(2)経営指標に係る目標

経営指標に関する目標は、入院患者1人1日当たり診療収入が目標値を大きく上回りました。入院単価が目標を達成した主な理由は、前年度から経営改善に取り組む院内プロジェクトにおいて、疾患別の在院日数を適切に見直してきたことで、入院単価が大幅に改善しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で、入院患者数が落ち込み、入院に係る医業収益が低迷したことで、医業収支比率が目標値を下回りましたが、経常収支比率は、医業収益が減少したものの新型コロナウイルス感染症関連の補助金が要因で、目標値を達成しました。

○次期計画の策定見込

令和3年度末に総務省から新たな公立病院経営強化プランのガイドラインが示され、策定期間は、令和4年度又は令和5年度中とされていることから、令和5年度中に策定する予定です。